

感染症(日本紅斑熱・つつが虫病等)の 運び屋

ダニにご注意!

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

【ダニが媒介する感染症】

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

ダニに咬まれないためのポイント

帽子

首にタオル

長袖

袖口を
手袋の中に

長ズボン

裾を靴下や
長靴の中に

足を完全に覆う靴



出展：国立感染症研究所

◆野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう。

◆明るい色の服を着ることで、マダニを目視で確認しやすくなります。

◆上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう。

◆屋外活動後はシャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。

※特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などに注意

マダニとは？

◆シカ、イノシシ、野ウサギなどの野生生物が出没する環境に多く生息しています。民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

◆春から秋(3～11月)にかけて活動が活発になります。

約3cm

約0.5cm

約1.5cm



ペットボトルの
キャップ



マダニ
(吸血前)



マダニ
(吸血後)

出展：厚生労働省

ダニに咬まれたときの対処法

◆無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置をしてもらいましょう。

◆マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

(受診時に医師に伝えること)

①野外活動の日付 ②場所 ③発症前の行動



金沢市保健所 地域保健課

金沢市西念3丁目4番25号

TEL 234-5102

FAX 234-5104

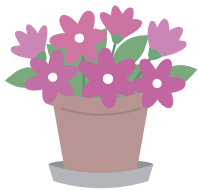
感染症(ジカ熱・デング熱等)の 運び屋

蚊にご注意!

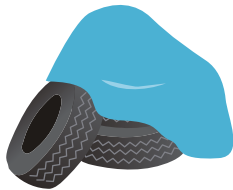
【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症 など

■ 蚊の発生を減らすために

定期的に幼虫が発生しそうな水たまりの除去・清掃をしましょう。
下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや
古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された
空きビン・缶・ペットボトル



詰まった排水溝

出典：厚生労働省

■ 蚊に刺されないために!!



虫除けスプレー(ディート含有)を使いましょう。

蚊がいそうな場所では、
長そで・長ズボンを着用し、
肌を露出しないようにしましょう。



出典：厚生労働省

なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。海外の流行地(東南アジア、中南米)で感染した人が国内で蚊(日本ではヒトスジシマカ)に刺されると、その蚊がウイルスを持った蚊になり、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。感染しても症状が出ない人もいます。ジカウイルス感染症は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱ではデング出血熱となり重症化することがあります。



出典：国立感染症研究所

ヒトスジシマカ

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、
5月中旬から10月下旬ころまで活動します。
雑木林、竹林、藪、墓地、公園などに見られます。
特に日中に活発に吸血します。
活動範囲は50m~100m程度です。

金沢市保健所 地域保健課

金沢市西念3丁目4番25号
TEL 234-5102
FAX 234-5104